

■市内の測定結果【単位： $\mu\text{Sv}/\text{h}$ 】

測定日 10月6日	
測定地点	線量平均値
1 大更小学校	0.06
2 東大更小学校	0.08
3 西根中学校	0.04
4 西根第一中学校	0.05
5 松野小学校	0.04
6 寄木小学校	0.06
7 柏台小学校	0.04
8 あしろ保育所畠分園	0.04
9 安代小学校	0.04
10 田山小学校	0.04

【国際基準と比較すると】

今回の結果での市内最高値 $0.08\mu\text{Sv}/\text{h}$ と同じ場所で、1日のうち8時間を屋外で過ごし、残りの時間を屋内(4割の影響を受ける)で過ごすと仮定
■年間被ばく量 $0.08\mu\text{Sv}/\text{h} \times (8\text{時間} + 16\text{時間} \times 0.4) \times 365\text{日} \approx 0.42\text{mSv}$ (ミリシーベルト)

国際放射線防護委員会(I C R P)が示す一般の人々が受けける放射線量の限度・年間 1mSv を大きく下回ります $\text{※ } 1\text{mSv}=1000\mu\text{Sv}$

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い、放射線による人体への影響、特に子どもの健康に対する不安が高まっています。市は、市内の放射線量の状況を把握するため、各地区の代表的な地点を10カ所選び、放射線量の測定を実施しました。測定結果は、全ての場所で国指標値を大きく下回りました。

■測定方法
①シンチレーションサーべイメーターアーを使い、1地点当たり5カ所を測定して、その平均値を算出
②子どもたちの生活空間を想定し、保育所や小学校は地上50cm、中学校は1mの高さを測定

■測定結果 左表のとおり。
実施した全ての地点で、8月26日に国の「福島県内の学校の校舎・校庭等の線量低減について」で示された土の削り取りなどの放射線

による人体への影響、特に子どもの健康に対する不安が高まっています。市は、市内の放射線量の状況を把握するため、各地区の代表的な地点を10カ所選び、放射線量の測定を実施しました。測定結果は、全ての場所で国指標値を大きく下回りました。

■測定地点 市内小中学校、保育所など10カ所

各種統計調査に長年尽力した2人と1事業所に功労表彰

本年度の統計功労者大臣表彰伝達式が11月17日、サンセール盛岡(盛岡市)で行われ、佐之丞さん(77)・宇土澤良知さん(77)・荒屋新町II、労働力調査で北館行工場長が厚生労働大臣表彰を受けました。



総務大臣表彰を受けた市統計調査員の宇土澤良知さん(写真左)と北館佐之丞さん

市の教育委員に小山田洋子さん(59)・五日市2区が11月15日付で再任されました。任期は27年11月14日までの4年間です。小山田さんは、17年11月から市教育委員で現在3期目。10月26日に開催された定例教育委員会議で市教育委員長に引き続き選任されました。



辞令を受ける小山田洋子さん(写真右)

市内10地点で空間放射線量を測定 全てが指標値を大きく下回る結果に

東日本大震災 発生から9ヵ月

復興支える市民のチカラ



遠藤久夫さん(写真左端)の指導でそば作りを体験する参加者

柏台小と野田小の児童たちが交流 体も心の中もポカポカ 体育館に歓声が広がる

この事業は、東日本大震災で被災した子どもたちに笑顔を取り戻してもらおうと、盛岡消費者友の会(村上好子代表)が主催したもので、野田村立野田小学校(高橋啓司校長、児童19人)の児童やそのきょうだいの園児計11人が、保護者9人とともに参加。一行

開会行事では、野田小の児童から前日作ったクリスマスリースが、柏台小の児童代表と井上校長にプレゼントされたほか、両校の子どもたちは、それぞれ提案した動物当てゲームや手つなぎ鬼などで遊び、交流を深めました。



仲良く「手つなぎ鬼」を楽しむ子どもたち

小山田洋子さん(五日市2区)
市教育委員長に再任される

(10月25日)
浅沢地域振興協議会が地域で集められた支援金15万円を市に贈呈

◆市役所窓口扱い ▽15万円
◆銀行振り込み(表記は通帳記載通り) ▽1万円 イトウリヨウジ
◆一般社団法人安代リンドウ会員を通じて、被災地へ支援金が贈られます

【義援金】
◆市役所窓口扱い ▽1万円
△1万円 阪尾和子▽5万円
一般社団法人安代リンドウ会員を通じて、被災地へ支援金が贈られます
※市が行う被災地支援活動などに使われる「八幡平市がんばろう岩手基金」に充てられます

ありがとうございます (11月20日まで受け付けました)

義援金・支援金